

# あの肉はどここの肉？

「カルビ」って  
どこの肉？



**①かた**  
やや硬く脂肪分が少ない赤身肉。コラーゲンが多く煮込みやスープ原料に向く。



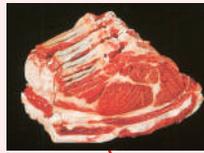
**⑦ネック**  
脂肪分が少なく赤身の多い硬めの肉質。ひき肉、こま切れ、角切りに。

韓国語で「カルビ」といえば「バラ」のこと。

**②かたロース**  
やや筋が多いが脂肪分が適度にある風味のよい部位。しゃぶしゃぶ、すき焼き等薄切りに向く。



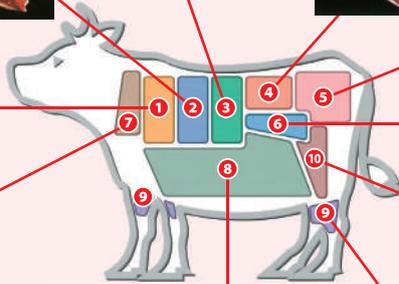
**③リブロース**  
きめが細かい。ローストビーフ等に向く。霜降りはすき焼きに最適。



**④サーロイン**  
きめが細かくてやわらかく、肉質は良い。ステーキに最適。



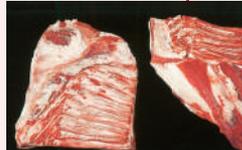
**⑤ランプ**  
軟らかい赤身肉。ステーキやローストビーフ等、幅広く利用できる部位。



**⑥ヒレ**  
きめが細かくやわらかい。脂肪分が少ない。



**⑩もも**  
脂肪が少なくやや硬め。ローストビーフや焼肉に向く。



**⑧ばら**  
赤身と脂肪が層になりきめが粗いが霜降りになりやすい。



**⑨すね**  
筋が多く硬いが煮込めばコラーゲンが溶出する。シチューやカレー等の煮込みに向く。

「ハラミ」って  
どこの肉？



**⑦タン(舌)**  
脂肪が多く、濃厚な味わいで人気。



**⑨ミノ(第一胃)**  
牛の4つの胃の中で、最も大きくて肉厚で、歯ごたえがある。特に厚い部分が「上ミノ」。



**⑨ハチノス(第二胃)**  
胃の内壁が「蜂の巣」のようにひだ状になっていることから。



**⑩センマイ(第三胃)**  
「千枚のひだ」があるように見えることから。



**⑪ギアラ(第四胃)**  
表面がなめらかで薄く、大きなひだがある。赤身があるので「アカセンマイ」とも呼ばれる。



**⑫レバー(肝臓)**  
炒め物で親しまれるレバーは、牛の肝臓。

**①ツラミ(ほほ肉)**  
顔のほほの部分。



**②ハツ(心臓)**  
筋繊維が細かく、コリコリした食感。



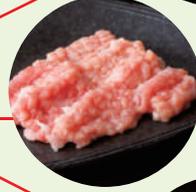
**③ハラミ(横隔膜)**  
柔らかくて適度に脂肪がある人気の部位。赤身肉に見えるが、内臓である。



**④マメ(腎臓)**  
牛の腎臓はぶどうの房状であることからついた呼び名。



**⑤ダイチョウ(大腸)**  
ショウチョウよりも太くて厚く、食感も硬めだが、良質な脂がついている。焼肉でも人気。



**⑥ショウチョウ(小腸)**  
ホルモンの代名詞。関西では裂かないものが「マルチョウ」、裂いたものは「コテツチャン」。



岡山県にも  
有名な牛が  
いるよ

岡山県産黒毛和牛  
「千屋牛の基盤乗り」



蒜山の  
「ジャージー牛」  
ミルクだけじゃなく  
お肉も美味しい。

